

一般質問発言通告書

発言順位 14番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年6月6日

三島市議会議長 藤江康儀様

三島市議会議員 8番 石井真人

質問事項1	新庁舎建設の整備方針と候補地の決定プロセスについて
具体的内容	新庁舎を整備する候補地について5月25日に市議会議員向けの説明会が開催され、本年度中を目途に決定する旨の説明があった。そこで新庁舎の整備方針と候補地の決定プロセスに関して以下に伺う。
	1 庁舎の建設規模についての考え方。今後、自治体DXの推進や北上・中郷文化プラザ・錦田公民館などの地域サテライト拠点の強化をした場合、令和13年度供用開始予定の新庁舎の規模が1万3,000㎡以上、かつ駐車場は約250台必要となる旨の根拠。
	2 生涯学習センターや体育館などの既存公共施設を仮設庁舎として考えられるか。新たに仮設庁舎を建設する場合と比較し、どのくらいのコスト圧縮が見込めるか。
	3 南二日町広場の場合は、浸水対策費として約5～6億円といわれているが、その事業内容及び道路冠水など、周辺地域へのリスク対策はどこまで考えているのか。また、追加費用としての増額はあるのか。
	4 南二日町広場に新庁舎を建設する場合は、南西に位置する御殿川について、県事業で未着手のままになっている区間の河川改修が必須と考えるがどうか。
	5 保健センターと社会福祉会館については、新庁舎に移設するのではなく、今後移設予定の医師会館及びメディカルセンターへ一体化させて、医療福祉健康の拠点として整備してはどうか。
	6 本年10月に予定している市議会の要望が、候補地決定に際して、どこまで考慮されるのか。市議会の要望を受け、候補地決定に至る最終判断までのプロセスを明確にしていきたい。
質問事項2	市内小中学校におけるいじめ・不登校の支援体制と今後の方針について
具体的内容	全国的にいじめ・不登校児童生徒数は増加傾向にあり、文部科学省からは、「不登校児童生徒への支援の在り方について（通知）」が示されている。そのような中で、現在の三島市内小中学校における支援体制の現状と今後の方針について以下に伺う。
	1 本市におけるいじめの認知件数と不登校の件数について直近の推移とその原因及び、タブレット端末による心の相談フォーム導入による効果と早期対応の状況は、本人又は周囲の子供たちからは、具体的にどのようなSOSの声があがっているか。
	2 新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが「2類相当」から「5類」に変わったことによる学校生活の変化
	3 市内中学3校でスタートした校内支援室の状況と今後の展望（小学校への拡大）
	4 不登校や欠席児童などの学習促進のために、全小中学校で常時オンライン化を行い、自宅、校内支援室、学校の別室、ふれあい教室などで、本人の希望するタイミングで授業を閲覧できるような環境整備ができないか。さらに、録画対応についてはどうか。
	5 いじめ解消につながる事後対応から、いじめ予防の強化に向けての考え方
	6 ふれあい教室の機能強化による教育支援センター化への検討（PR強化、相談窓口の一本化、SC・SSWの常勤・常駐化とスーパーバイザー配置、オンラインカウンセリングの実施、訪問型支援の実施、個別学習指導の強化、月曜日の対応、土日開校による学生生活用）